



～徳川昭武が撮影した写真から松戸の変遷をたどる～

戸定歴史館 夏季展「坂川・江戸川水景色」を開催します

明治17年、徳川昭武は、戸定邸を建設し移り住みました。仲の良い親族や友人と多くの趣味を楽しむ中で、特に写真撮影に熱中しました。松戸の町や馬橋、小金のみならず、広く東葛の風景や地域住民の日常が切り取られた写真は、当時の自然環境や生活様式を伝える貴重な歴史資料でもあります。古写真を通して過去と現在を比較し、松戸の変遷をたどります。

◆会期 令和2年7月18日（土）～9月13日（日）

◆会場 戸定歴史館展示室

◆費用 戸定歴史館入館料 一般150円（共通入館券は320円）
高校・大学生100円（共通入館券は160円）
※中学生以下無料

◆展覧会概要 *展示品は例として挙げています。

➤ 第1章 坂川

… 坂川の流域、特に松戸駅西口で流れが蛇行する付近では、徳川昭武、慶喜が水辺の風景を撮影していることに触れる。

ステレオスコープで立体写真（複製）を体験的に見せる。

展示品：古写真（複写を含む） 等

➤ 第2章 松戸徳川家の誕生

… 授爵にあたって水戸徳川家から分家し、松戸徳川家が創設された経緯に触れ、通常展からの継続として大名華族の生活様式を示す品を展示する。

展示品：「ぶどう酒御コップ」、「鼠色麻葵三つ紋付男児着物」 等

➤ 第3章 徳川家の夏やすみ

… 松戸徳川家ならではの夏の過ごし方（避暑、夏の家族旅行）をイメージできる品、戸定邸での家族写真等、生活感が伝わる品を展示。

展示品：陶製椅子、古写真（複写を含む） 等

➤ 第4章 江戸川

… 徳川昭武は江戸川流域、特に小合（現在の水元公園付近）を中心とした水辺の風景を好んで撮影している。

展示品：古写真（複写を含む） 等



◆展示品 抜粋



「ぶどう酒御コップ」



鼠色麻葵三つ紋付男児着物(古沢秀彌氏旧蔵資料)

◆写真 抜粋



左：「古ヶ崎」(「松戸町狐橋ヨリ酒川ヲ望」)
1908年6月 徳川昭武撮影



右：現在の春雨橋付近



釣人と子供(立体写真)
明治時代か? 徳川昭武撮影

【問い合わせ先】

生涯学習部戸定歴史館 ☎047-361-0056